外部評価軽減要件確認票

Ĭ	事業所番号	2390500102
	事業所名	グループホームあかり中村苑

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)				
重点項目①	町内会長や民生委員の協力で、地域とは良好な関係を継続している。コロナ禍により、地域行事こそ中止にはなっているが、両者からは随時に地域の情報提供を得られている。民生委員からの、独居老人の生活相談も引き受け、地域の高齢者が適切な支援を受けられるように、ホームの役割として、地域貢献を果たしている。利用者の地域交流再開については、コロナ終息待ちとなる。	0			
	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)				
重点項目②	今年度は、過去6回全てを書面開催としている。家族、町内会長、民生委員、地域包括支援センター等のメンバーには、活動報告等を情報提供し、意見を募っている。「目で見てわかる資料の提供」という要望には即座に対応し、写真をプリントする等で改善を図っている。運営推進会議再開の要望も多く、コロナ終息が待たれるところである。	0			
	市町村との連携(外部評価項目:4)				
重点項目③	地域包括支援センターが主催する、地域ケア会議には、招集があれば積極的に参加している。また、家族教室の講師受託についても、要請があれば連携を図っている。コロナ禍で、必要最小限の連携にとどまっているが、電話連絡を密に行い、良好な関係を継続している。市の担当部署とも、現在は電話対応が主となっており、運営に関する相談・報告を通じて適切に連携を図っている。	0			
	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)				
重点項目④	現在はコロナ関連の意見や要望が多くなっている。面会制限、面会禁止、コロナ感染症対策等、家族の心配を真摯に受け止め、対応している。昨今は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、外部者の来訪、家族の面会は禁止にしている。しかし、手紙や電話の取次ぎ、リモート面会等、できることを工夫し、家族の安心に応えている。	0			
重	その他軽減措置要件				
点項	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。				
目 ⑤	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。				
9	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	\circ			
	総 合 評 価	\bigcirc			

備考欄】

昨年度から引き続き、開催が困難な場合は書面開催としている。今年度、過去1年は、 6回全てが書面開催となっている。議事録は、市の担当部署始め、メンバーに配布してい る。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の 実践状況(外部評価)が適切であること。
- 2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と 地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村と の連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、 家族等意見の 反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	0	0									